

タイトル『2.43 清陰高校男子バレー部』

著者：壁井ユカコ

出版社：集英社

「転校生が来る」

田舎のとある学校に東京から来た転校生は、黒羽裕仁の幼なじみの「チカ」と灰島公誓だった。

だが、幼い頃の可愛らしい「チカ」ではなく、無口で無愛想な「灰島」に豹変していた。

そんな灰島が唯一興味があるのはバレーボール。

ほとんど機能していないバレー部で、独りで練習している灰島を見て心を動かされた黒羽は、一緒に練習を始める。

そのうちに部員が参加し始めて初の公式戦を迎えるが、それがきっかけとなり灰島と黒羽は仲違いをしてしまう。

そのまゝ2人は清陰高校へ入学するが、バレー部に入ったのは黒羽1人だった。しかし球技入会でバレー部主将、小田に気に入られ、やはりバレーが好きなとバレー部に入るが……。

涙と汗の青春物語。



バレーを

通して分かる合う、
心と心。

それが“とんとん”伝わり、
チームになって
いつか……。

投稿日 2016年 3月 16日

ペンネーム

極夜@審神者

年齢

14歳

仙台市太白図書館 YAコーナー